

改善プログラムシート【基本事務事業名「商業等の活性化を支援する」(市民環境本部)】

担当部課	商工観光課 総企画管理室
------	-----------------

基本事務事業の目的 <現在>
商店会の現状を維持しながら、支援策を展開することで、都市活動との融和を図り、地域に根ざした経済基盤を醸造し、多世代に親しまれ新たな発展を生み出す。

基本事務事業の目的 <変更後>
地域に住まう市民の日常生活を支える商業を支援していくことで、地域に根ざし、地域に親しまれる商店会等が地域社会と共に発展していく。

改善によって目指す状態
支援対象を広げることで、地域密着型商業の活性化を図る対策を柔軟に講じることができるようになる。

1. 事前質問
2. 当日意見
3. 事後検討
4. その他

優先順位	改善内容	改善時期	改善する業務	改善の効果	改善が必要と考える背景や考え、実施方法	理由種別
1	賑わいのある街づくりを目指す事業へ展開させます	～26年度	空き店舗対策支援業務	不足業種又は地域貢献する事業者・団体に広く空き店舗を活用してもらうことで、街の賑わいを創出すると共に地域市民の利便性が高まる。来街者が増えることで、地元商業の活性化につながる。	地域コミュニティの再生を商店会の活性化とともに推進するしくみを観光、子育て世代、高齢者、若者など各方面との連携を意識しながら行う。(補助対象者を商店会に限らない)	2
2	基本事務事業の目的変更に伴い、地域の暮らしに役立つ商業の活性化を目指す取組みを対象とする補助金を統合することで、わかりやすい補助金に見直します	～26年度	整備支援業務 設置費補助金 修繕費補助金 維持管理費補助金	①時限的にLED化を強力に推し進めることで、市からの財政負担の軽減となる。 ②管理する商店会自体の支払う維持管理料(電気代金)も軽減され、その軽減分が新たな商店会活動或いは活動が充実される。	重複する事業内容が複数の補助金事業にあるため、業務の統合と効率化を図るべく一本化を、商業団体と十分検討を行いつつ進める。 評価指標を、街路灯の「設置数」から、「維持管理における市の割合」へ変更する。	2・4
		～25年度	ホームページ作成支援業務 ポイントカード導入促進業務	ICTを活用することで、市民にとっては生活の利便性が高まり、商業者にとっては顧客の定着や新たな顧客が増え、売上の増加と安定化につながる。	ICT活用への支援内容として、財政的な支援のほか情報提供、人材育成・助言を行う。	2
3	商店会の組織化に向けた支援方法に幅を持たせます	～25年度	法人商店会支援事業	①街区を越えた広域で、組織化への取組みを進める。 ②法人化することで、各種事業が国・県の補助対象となり、市の財政負担の軽減が図れる。	会員不足・高齢化など商店会運営は厳しい環境であるため、やる気のある商店街を育成し、地域単位での合併など商店会自身が体力の増強を図る必要がある。その為、法人化を指導していく過程として、まずは隣接商店会との合併を推し進めていく。	2